

平成二十七年 第八期くまもと俳句ポスト

第八期開函

俳誌「霏霏」主宰 星永 文夫 選

特選

激動に生きし小楠草の露

熊本県熊本市

児玉胡餅

【講評】

幕末の思想家・政治家であった横井小楠が、門弟を指導した塾であり、今は記念館となつている四時軒（熊本市東区沼山津）での作であろう。幕府改革に参画し、のち新政府にも招聘されて活躍したが、天主教の布教にかかわつているとして暗殺された。そんな時代の激動そのままに、生きた郷土の英偉の生涯を、「草の露」として偲んだ、その直截さがいい。

わが輩通り賞

ここからは吾輩通り初しぐれ

熊本県熊本市

水野つとむ

入選

昭君の琴の音に散る銀杏かな  
水鳥や阿蘇よりの水今も澄む  
百舌鳴くや老いを背負いて宇土櫓

鹿児島県鹿児島市 青野迦葉  
福岡県行橋市 安藤東三子  
熊本県熊本市 木村初子

佳作

身に入むやガラシヤ遺愛の手水鉢  
汗をふく語部重き万田坑  
夏風にハーンの筆音運ばれて  
八雲居の秋の風鈴ふいに鳴る  
山茶花やルーペで覗くハーンの子  
炎天に反りの豊かや城の垣  
城影につなぐ手愛しい蝉しぐれ  
秋風や夏目先生微笑んで  
漱石の遺品に触るる小春かな  
四時軒のとんぼに安保の是非を問う

熊本県熊本市 山崎綾子  
東京都荒川区 田中和明  
福岡県福岡市 白石紗也  
広島県大竹市 大前幸子  
長崎県諫早市 麻生勝行  
福岡県北九州市 大木吉廣  
栃木県宇都宮市 阿久津美保  
神奈川県横浜市 増田直人  
熊本県熊本市 坂口美穂子  
熊本県熊本市 内田哲二

投句総数

一三〇六句

市外

九三〇句

市内

三七六句

開函日平成二十七年十二月三十一日